

Androidとユビキタス

2009年 3月9日

日本電信電話株式会社
未来ねっと研究所
神林 隆

謝辞

- 本研究の一部は、平成20年度総務省委託研究「ユビキタスサービスプラットフォーム技術に関わる研究開発」による成果です。ここに記して敬意を表します。

目指す世界

- 誰でも、いつでも、どこでも、状況に応じたユビキタスネットワークサービスを容易に提供できる世界
 - 実空間において、競合が発生しないようにサービスを提供する
- Androidに期待するところ
 - 日本Androidの会 設立趣意の
 - 2.Cloudが提供する様々なサービスのViewer
 - 4.組み込みの標準的なプラットフォーム

ユビキタスサービスプラットフォーム

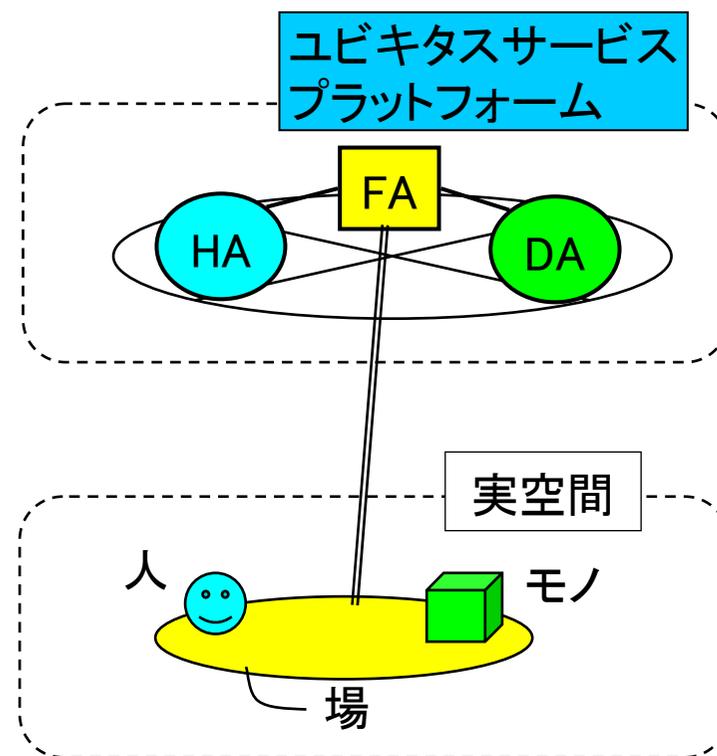
- 実空間にあるものを3種類のプレイヤーで表現

- 人
- モノ
- 場 (例: 部屋、車の中)

- プレイヤーごとにエージェント化

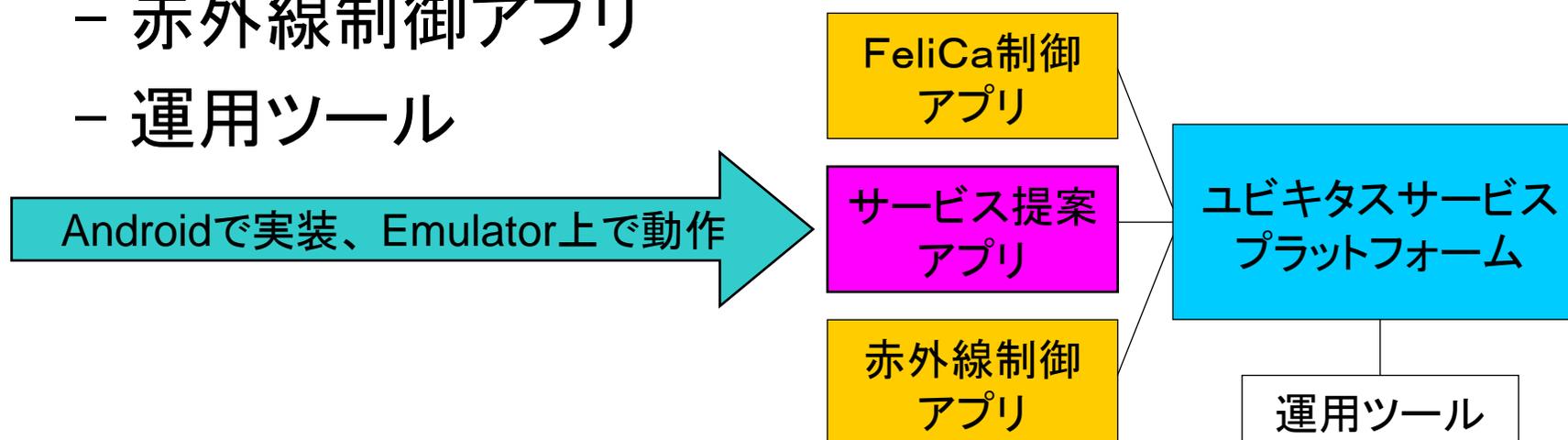
- HA (ヒューマンエージェント)
- DA (デバイスエージェント)
- FA (フィールドエージェント)

- プロファイルで、情報や状態を管理



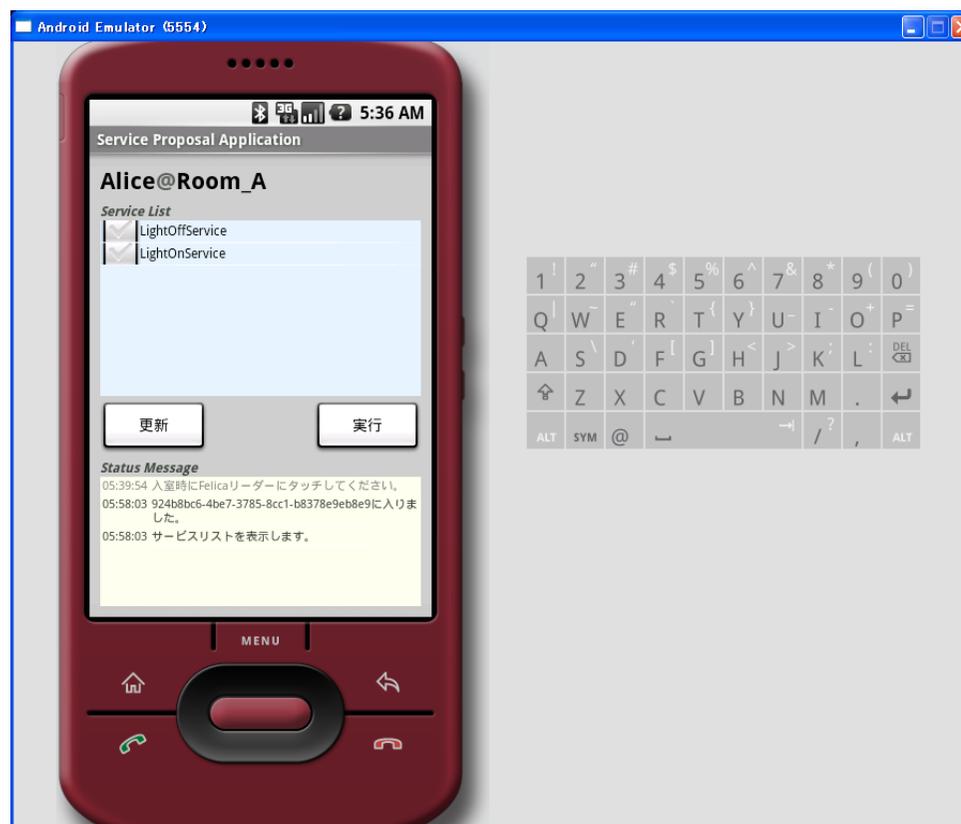
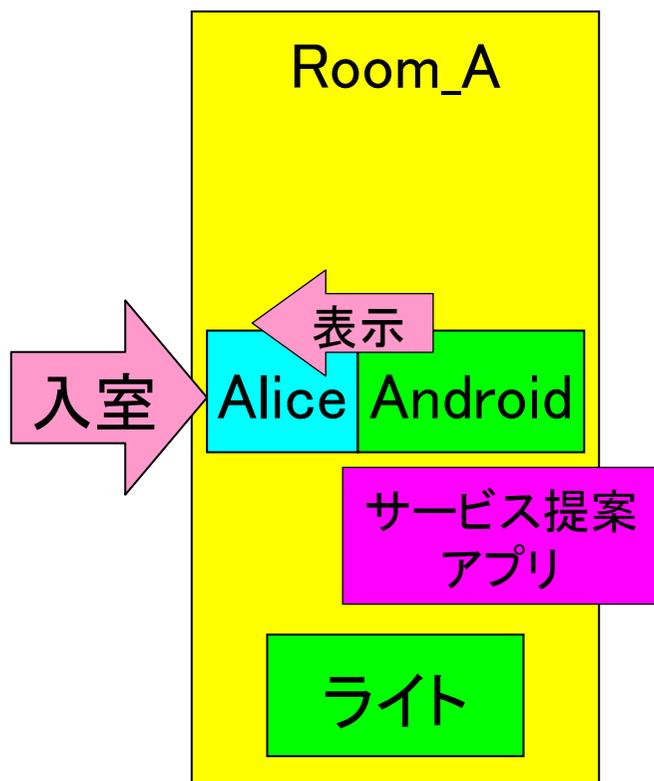
プロトタイプの試作

- ユビキタスサービスプラットフォームプログラム
 - 対応する実体に関するプロフィールを解釈
- アプリケーションプログラム
 - FeliCa制御アプリ
 - サービス提案アプリ → ユーザとインタラクション
 - 赤外線制御アプリ
 - 運用ツール



サービス提供シナリオ (1)

1. AliceがRoom_Aに入室した時に、提供可能なサービスのリストをAliceが持つAndroid端末に提示



サービス提供シナリオ (2)

2. Aliceが選択したサービス(ライトをオン)を実行

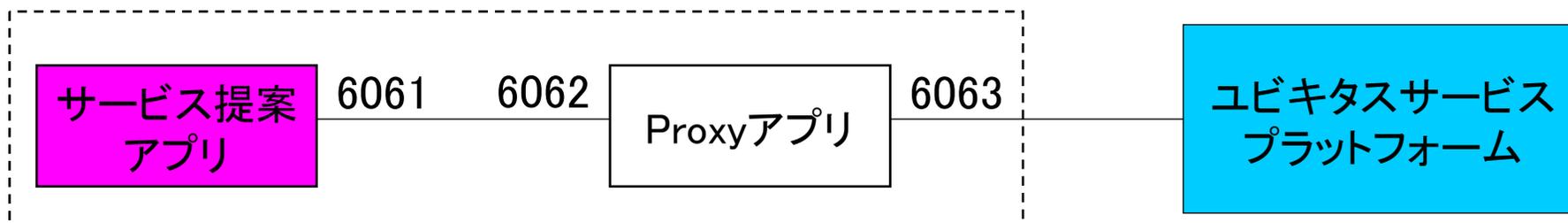


デモ

- ビデオをご覧ください！

通信の仕組み

- 6063: プラットフォーム側からアクセスされるポート番号
- 6062: フォーワードするポート番号
- 6061: Emulator上における通信待ち受けポート番号



- Emulatorにて通信リダイレクトを設定

```
> redir add tcp:6062:6061
```

おしまい

ご静聴、どうもありがとうございました。